

■木島平村夏祭り開催中止

8月に開催を予定していましたが、村夏祭りですが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。昨年に引き続き中止となり大変残念ですが、今年は疫病退散を祈願し花火の打上げは実施することになりました。打上げの日程は左記のとおりです。

日時 8月12日(木) 20時〜 約10分間

場所 ケヤキの森公園

新型コロナウイルス感染症対策のため観覧会場は設置しません。

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



■村無形民俗文化財『からす踊り』

村夏祭りでも踊る『からす踊り』は村の無形民俗文化財に指定されています。今回は、からす踊りの歴史について掲載します。

からす踊りの創始について、直接の文献は残っておらず、平成4年に民俗音楽学者の村杉弘氏による『鳥踊考』が著され、戸隠修験の「宣澄踊り」との共通点が指摘され、からす踊りはその派生したものと位置付けられました。宣澄踊りは戸隠修験や戸隠講を媒介として北信一帯から新潟県南魚沼郡一帯にかけて浸透して行ったと考えられ、「からす踊り」や「盆じゃもの」に派生して伝承され

ていったと考えられています。からす踊りと盆じゃものは歌詞や旋律、踊りが似ているため、中には名前を取り違えて踊られる例もあります。しかし伝承は別々に行われており、村杉弘氏は「盆は寺の境内で盆じゃものを踊り、祭りは神社の境内で鳥踊を踊る」と見えています。からす踊りは県内では飯山市、栄村、野沢温泉村、山ノ内町の一部にも伝播していますが、過去には須坂市にも及んでいました。また新潟県域では津南町、十日町市、妙高市、上越市の一部にも及んでいます。信州への出稼ぎや湯治の際にそれを持ち帰り伝えたという口碑が残っています。

伝統あるからす踊りを後世に残していくため、現在村内には『からす踊り保存会』が組織され、各種イベントへの参加のほか、毎月練習を行っています。令和元年には文化財を長年にわたって保護し、文化的価値の継承と普及に功績があったとし、長野県文化財保護協会から「文化財保護功労者」として表彰を受けました。



会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へ送付ください。】

【送付先】〒389 2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp